



1 1月5日。年始の恒例行事「初せり」が、公設地方卸売市場で開催されました。早朝の冷気が漂う場内でしたが、威勢の良いかけ声が、あちこちで響き渡っていました。

2 1月7日。北ガス文化ホールで、成人式「はたちのついで」が開催されました。今回の対象者は1280人。大ホール前のロビーには、華やかな着物姿の新成人が集い、旧友などこの写真撮影に興じていました。

3 1月11日。消防職員・団員の土気高揚を目的とする「出初式」が北ガス文化ホールで開催されました。敢闘章を授与される少年消防クラブの皆さんの表情にも緊張感が漂っていました。

4 1月17日。農研研修センターで、「漬物コンクール」が開催されました。東千歳の地域の皆さんが選んだ優勝作品は、**5** 写真右から、漬物の部・巻口ひとみさんの《ごほうの酢醤油漬》、果実酒の部・片桐圭恵さんの《梅酒》、加工食品の部・竹嶋昌代さんの《北あかりパン》でした。

6 1月29日。福岡県の太宰府天満宮から「梅の親善使節」一行の来訪があり、「紅白の梅」が届きました。昭和31年に始まり、62回目となる《春の便り》。今年も一面の雪景色に温かな彩りを添えてくれました。

編集後記

■支笏湖氷濤まつりが開幕した。今期は、強風や暖気と雨で会場設営が難航。開幕直前まで24時間体制で散水作業に当たったのは、過去に例がないとのことだ。湖水の美しさだけでなく、実行委員会メンバー一人一人の汗が、40年分の地域の思いが氷に染み入る。ただただ、素晴らしいというよりほかない。

■数年前の節分の日。鬼を前にした娘は、泣きじゃくりながらも、まだ歩けない弟を必死で守ろうとしていました。弟が生まれ、赤ちゃん返りを心配していましたが、いつの間にか立派なお姉ちゃんになっていたようです。人一倍、臆病だったのに。私はお面の下で、ついホロリ。まさに鬼の目にも涙です。 **あ**

今月の表紙

今年で40回を迎えた支笏湖氷濤まつり。1月26日から2月18日まで、さらに2月21日から25日の間は、記念イベント《青の祭》が開催されます。今までにない「支笏湖ブルー」一色の会場をぜひ！



1月25日～28日の間/支笏湖氷濤まつり会場にて撮影